

はじめに

第二章

第五節

服装と身だしなみに

注意する

仪容仪表是社会人基本的商务礼仪之一。每个职员的服装和仪容仪表都直接关系到他人对公司的评价。作为日企的一员，在工作时要正确着装，要了解男性职员和女性职员着装中的注意点，以及穿制服和便服时的要求等。

本节中需掌握的重点：

- 日本商务人士着装的基本规范
- 根据商务人员的形象要求掌握各种商务场合服饰礼仪
- 服饰礼仪突发状况的应对技巧

1. ビジネスの服装は世のカジュアル化とは逆

最近、多くの会社でカジュアルデーを導入し始め、また地球温暖化対策、省エネ対策としてクールビズが容認・奨励されているため、会社でも家庭同様にリラックスした服装で気楽に仕事ができると思って

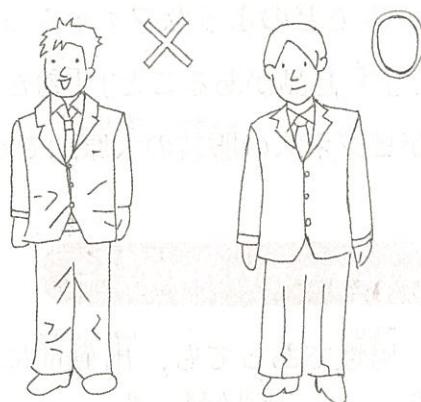
ひとふいる人が増えているようです。ところが、そのことにすっかり気を許して、「オン」と「オフ」の区別をなくしては、せっかくのカジュアルデーも台無しとなります。

かいしゃりがいから会社の利害が絡むビジネスの場では、いくらファッションに敏感であっても、あいてふゆかいいんしょうあた相手に不愉快な印象を与えるようでは、社会人失格です。

ぱよそきほんあいてはいりょしゃかいじんしつかくじやがいビジネスの場での装いの基本は「相手に配慮すること」です。社外でプレゼンテーションする際、「半袖シャツにノーネクタイの人」と「ビジネススーツにネクタイの人」では、同じような内容であっても、ういんしようこと受けの印象はまったく異なります。

カジュアルOKのオフィスでも、着こなしに注意が必要です。職場で使えるカジュアルは、普段着に見えないことがポイントです。色々ちしていたり生地が伸びたりしているものはだらしなく見え、「オンカジュアル」として不適切です。高価でなくても、清潔感のあるものを身に着けることが何より重要です。スーツで上下揃えなくても、品のよさが保たれるジャケットを突然の来客に備え、ロッカーに常備しておくのもよい方法です。

たいていのカジュアルが容認されている女性でも、節度を守るべきです。訪問先の会社でお茶を出してくれた秘書が「素足にミュールでミニスカート」だったのを見て、この会社の社員は「常識がない」と感じたという人もいます。肌が過剰に露出し、体型がはっきり出るのは「オフカジュアル」です。



ちまた 巷でどのようなファッショングが流行しようとも、「清潔感があること」「上品があること」「動きやすいこと」「肌が露出しそうないこと」がビジネスの服装の大原則です。

2. 着こなしのポイント

だんせい 男性であっても、出勤前には必ず鏡の前に立って、「出陣前の身だしなみ」チェックを習慣づけましょう。髪が逆立っていないか、爪が伸びていないか、ひげの剃り残はないか、また襟元にフケなどが付いていないか、ネクタイはスーツや季節に合っているなどをチェックします。



じょせい 女性は服を着た後、腕を大きく上下、前後左右に動かして、自由に動くかどうか、その服で仕事ができるかどうかを確認します。また、動いた時に下着や肌が見えないかも注意します。これは本人よりも周りが気になってしまうので、気を付けたいものです。その後、袖口、胸元、裾まわりを点検します。ボタンが取れていなか、綻びはないか、ストッキングが伝線していないかもチェックします。ストッキングの伝線は醜いものです。伝線した時にすぐ着替えられるよう、一足準備しておくのも女性のマナーと言えます。このような外見上のチェックはお洒落とは関係なく、身だしなみとして日常において欠かすことのできない重要なマナーだと考えられています。

つまりは、相手に「かっこいい」「きれいだ」「お洒落だ」などとよく思われようとするのではなく、毎日、接する同僚や上司、さらには顧客に対して、不愉快な感情を与えないようにすることが基本的なマ

ナーになります。

さらには、相手によい印象を与えるという気持ちの前に、自分自身を緊張させるという意味で、服装や身だしなみに心を配ることは内面的なお洒落と言えます。

3. 制服と私服

会社によっては、特に女子社員のために制服を用意しているところがあります。こうした制服を設けた意図は、制服を着ることによって、企業のイメージのため、組織の繋がりを表すため、社内の雰囲気をピリッと緊張させるため、働きやすいため、あるいは、私服による競争を避けるためなど、いろいろな理由が考えられます。いずれにしても、制服を採用している会社の社員は、勤務時間に限ってその着用が義務付けられます。現在制服着用の制度に対しては賛否両論です。ひと人によっては、「制服なんて今や時代遅れ」と抵抗を感じる人もいます。しかし、あなたが着ている制服は、社外の人やお客様にとって、あなたがその組織の一員であるということの一番の目印になっていることをしっかり意識しなければいけません。制服はいつも清潔を保ち、ボタンなどもきちんと留め、だらしなく見えないようにします。

私服で執務する時は、働きやすのこと、華美になり過ぎないことが基本になりますが、職種や職場によっては、流行に敏感な服装が求められることもあります。自分の職場ではどのような服装が最も相応しいかを把握する必要があります。



会話 身だしなみに注意しましょう

野村：山田先輩、おはようございます。

山田：ああ、おはよう。いいお天気ね。

野村：いいお天気ですね。今日もよろしくお願ひします。

山田：あっ、野村さん、二つ目のボタンが取れそう。

野村：ああ、どうしよう。今日10時に三井物産の鈴木さんとの約束があります。困ったな。

山田：予備のボタンと糸を持っているから、付け直してあげるよ。

野村：すみません。

山田：今度からは、朝出かける前に、ちゃんと身だしなみをチェックしてね。相手に対して、失礼のないような服装や身だしなみをするように。

野村：かしこまりました。今度からは是非注意します。どうもありがとうございました。



1. 「～ようでは」的用法

接用言连体形后，表示假定条件，后项一般是消极的结果。可译为“如果…的话就…”。

例

①お母さんといっしょでないと困るようでは、どこへも行けませんよ。

如果不是和母亲在一起就不行的话，那就哪里也去不成了。

②こんな質問をするようでは、まだまだ勉強が足りないのです。

如果提出这种问题的话，那么你在学习上下的工夫还不够。

2. 「～とも」的用法

接续助词，接动词连体形、意志助动词「う、よう」、形容词连用形（く）后，表示转折关系，有「なくとも」「う（よう）とも」「ずっと」三种用法。可译为“不管…也…，即使…也…”。

例

①どんなことがあろうとも秘密を守らなければなりません。

不管发生什么事情都必须保守秘密。

②蓄えがなくとも年金だけで、老後を不安なく暮らしていきたいのです。

希望即使没有积蓄，光靠退休金也能安心地度过老年后的生。

3. 「～に限って」的用法

接体言后，表示限定的事物或范围。可译为“惟有…，只有…”。

例

①あの人に限って、人を騙すようなことはしないのです。

唯独那个人不会做欺骗他人的事。

②あのレストランは年中無休なのに、行ってみたら、今日に限って休みでした。

那间西餐厅整年不休息，今天去光顾却偏偏休业。

3. 「～によっては」的用法

接体言后，强调个别情况，表示例外。可译为“因为…的不同而…”。

例

①学校によつては男子学生の長髪を禁止したりもします。

有的学校禁止男生蓄长发。

②そんな話を聞けば、人によつては怒るかもしれません。

听这样的话，有的人也许会生气。

单語表



本文 1

○クールビズ / 夏用商务便装的通称

○リラックス / 放松，轻松

○気を許す / 疏忽大意，丧失警惕

○台無し / 弄坏，糟蹋，断送

○装い / 装束，服装

○プレゼンテーション / 提案，企画，设计

○着こなし / (衣服的) 穿法

○生地が伸びる / 布料失去弹性

○だらしない / 邋遢，衣冠不整

○ロッカー / 存衣柜，橱柜

○素足にミュール / 光着脚穿拖鞋

○巷 / 街头，民间

本文 2

○逆立つ / 倒立，倒竖

えりもと
○襟元 / 领子的周围

○フケ / 头皮, 头垢

すそ
○裾まわり / 下摆里衬

ほごろ
○綻び / 破绽

でんせん
○伝線 / 绶线, (袜子) 跳线

みにく
○醜い / 难看的

本文 3

○いずれにしても / 反正, 总之, 不管怎样

ぎ む づ
○義務付けられる / 规定必须…, 有义务必须…

ふさわ
○相応しい / 合适, 相称

会話文

いと
○糸 / 线

つ なお
○付け直す / 重钉 (钮扣)

練習



一、ビジネスマナーチェックをしましょう

1. ビジネスの服装でまず避けるべきことは「派手になりすぎない」ことです。
2. ビジネスの場では仄かな香りの香水でさえ、誰の迷惑になるか分かりません。
3. ビジネスの場では、まっすぐ下に伸びたネクタイは格好悪いです。
4. ビジネスの場では、男性の場合はリュックを背負って、その中に本や資料を入れて出社してもいいです。

5. ビジネスの場では、身につけるですから、靴下は黒でないほうがいいです。
6. タバコは吸った後、服に匂いが残ると取れるまでに時間がかかりますから、お客様と会う前に吸うなら、タイミングに注意しなければなりません。
7. ビシッとしたスーツやピカピカの靴を身に着けている男性は、誰から見ても清潔で素敵です。
8. ビジネスの場合では、紺、グレー、黒といった落ち着いたカラーは、男には向きますが、女には向きません。

二、クイズを楽しみましょう

1. 会社の先輩や上司はもちろん、取引先の方などに対して気持ちよく応対するために、社会人の身だしなみとして必須のものを選びなさい。
- 清潔であること
 - 美しくであること
 - 上品であること
 - 控えめであること
2. 訪問先で、コートや上着を脱ぐタイミングはいつでしょうか。下記より選びなさい。
- 建物に入る前
 - 受付に着く前
 - 待合室に入る前
 - 訪問先の担当者との挨拶後

三、ロールプレイを試みましょう

練習 テーマ	職場に相応しい身だしなみ
参加者	2名
役割	山崎（先輩） 浅井（新入社員）
場所	営業部で
場面	新入社員の浅井さんは気に入った髪形や服装で仕事を来たら、「そんな格好は仕事をするには相応しくないので直すように」と秋山課長に言われてしまいました。そして、浅井さんは職場に相応しい身だしなみについて山崎さんに教えてもらいます。

関連知識



☆ビジネス小物について

バッグ：革製の手提げタイプがベスト。

名刺入れ：革製のシンプルなものがベスト。

時計：スポーツタイプのものは避け、落ち着いたデザインのものを選びます。携帯電話を時計代わりにするのは避けます。

手帳：持ち歩くカバンに入る大きさのものを選びます。また手帳を利用する目的（時間管理用、メモ書き用、備忘録用）を明確にして、その条件を満たしてくれるものを選びます。



☆ビジネス服装のスーツについて

社会人としてまず揃えなくてはならないものはスーツです。三つボタンタイプのスーツも人気ですが、一般的なものは二つボタンスーツです。顧客や取引先と接する機会が多い人はできるだけ無難なスーツで行き、また、真面目で誠実な印象を与える時は二つボタンスーツのほうがいいでしょう。スーツは体にフィットするものを選びます。汚れたり、染みや皺があったり、くたびれているものはよくありません。各シーズンに2着ずつ用意して、着まわすのがよいです。

☆ネクタイについて

ネクタイを締める際は、歪みや捩れ、結び目に注意しましょう。また、赤系のネクタイは行動的で、青系のネクタイは知的なイメージを人に与えますから、常にビジネスシーンに合わせてネクタイを変えましょう。